



「疾病予防と治療」グローバル補助金 授与のガイドライン

ロータリーは大きなニーズのある6つの分野に重点をおき、国際関係を培いながら、人びとの暮らしを支援し、より良い世界を築いています。ロータリー財団が授与する[グローバル補助金](#)を通じて、クラブと地区は、各分野において入念に計画された、大きな影響をもたらす活動に参加します。

グローバル補助金の活動はすべて重点分野の目標に沿ったものである必要があります。「疾病予防と治療」分野は、以下を目標としています。

1. 地元の医療従事者の能力向上。
2. 伝染病の伝播を食い止め、非伝染病の発生とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラムの推進。
3. 地域社会の医療インフラの改善。
4. 主な疾病の蔓延を防止するための、地域社会の人々の教育と動員。
5. 疾病またはけがによって引き起こされる身体障害の予防。
6. 疾病予防と治療に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援。

本資料は、グローバル補助金申請時の指針としてお役立てください。持続可能なプロジェクトの立案方法、特定の種類のプロジェクトに必要な情報、参考資料や情報を入手する方法などを説明しています。

A. 持続可能性の要素

「持続可能性」の定義は組織によって異なりますが、ロータリーでは「補助金資金がすべて使用された後にも、受益者が自力で地域のニーズを満たしていけるよう、長期的な解決策を提供すること」と定義しています。以下の各項目をよく読み、プロジェクトが長期的に持続可能なものかどうかを判断することで、申請が承認される可能性が高まります。

1. 地域社会の調査

地域社会の調査によって、最も支援を必要としている分野と、変化をもたらすためにロータリアンが果たせる役割を特定します。プロジェクトの提唱者（多くは他団体と協力）は、申請書を提出する前に地域社会の調査を実施する必要があります。調査によって地域社会の強みと弱みが明らかになり、解決策を考える際に役立てることができます。すでに調査を実施した場合は、関連するデータを活用してプロジェクトを立案しましょう。

地域社会の調査を通じて以下を行います。

- 性別、年齢、職業などが異なる地域住民の多様な意見を集める。

- 地域住民に、最も重要度が高いと思うニーズを挙げてもらう。
- 提案されたプロジェクトにどのように貢献できるかを、地域社会の参加者に尋ねる。
- 地域住民と協力して、長期目標およびプロジェクトで期待される成果を決める。

地域社会の調査結果を補助金申請書に含める必要があります。調査結果には以下の内容が必要です。

- プロジェクトの活動を実施するために地域社会のリソースをどのように利用するか
- プロジェクトは、地域社会の呼びとが特定したニーズをどのように満たすか
- 長期目標またはプロジェクトの成果とその達成方法（例えば「研修と認知度向上キャンペーンを通じて」）
- 補助金授与の終了後も地域社会でプロジェクトをどのように持続させるか

プロジェクトの活動がすべて政府の医療制度の公認方針および臨床基準に沿っていることを証明する政府機関または協力団体からの書類を提出してください。ロータリーでは推薦状の提出を強く推奨しています。

疾病予防と治療プロジェクトの受益者には以下が含まれます。

- 医療利用者（プロジェクトの具体的な受益者）：
 - 妊婦、新生児、健康リスクのある子ども
 - 性行為感染症の罹患リスクのある思春期の少年少女
 - 非伝染病の罹患リスクのある成人男女
 - 罹患リスクの高い高齢者
 - 伝染病または感染症の罹患リスクの高い集団
 - 障害者
 - 精神疾患、アルコールまたは薬物依存症、PTSD、その他の臨床診断された疾患のある人
- 医療インフラ（一次医療の診療所、地域保健センター、地区および地方保健センターや病院、可動式クリニック、専門的治療を行う三次医療施設）
- 医療従事者（地域医療の現場職員、熟練の助産師、地域医療看護師、医療技師、助産師、専門看護師と医師、歯科専門医、精神医療および依存症専門家とカウンセラー）

2. 物資とテクノロジー

設備やテクノロジー機材はできるだけ現地で購入し、スペア部品が現地で入手できることを確認しておきましょう。機材または設備選びには地元住民や受益施設にも関与してもらい、住民や施設が自力で管理・修理できるよう研修します。

補助金申請書で以下の点を説明する必要があります。

- 寄贈または購入される設備と、その設備に関する研修と維持管理の計画。研修が不要な場合は、新しい設備を使用する担当者のスキル。
- 新しいサービスが提供されるのか、購入した設備は現行または旧式テクノロジー機材のアップ

グレードか。

- 設備を現地購入しない場合、受益者がスペア部品を入手する方法。
- 設備またはテクノロジー機材の保管場所の環境、所有者、適切なセキュリティ対策。
- この設備またはテクノロジー機材がプロジェクトの目標に不可欠または関連性が高い理由。
- 新しいテクノロジーの「概念を実証する」文書（導入先と同様の環境での使用成功例を詳細に説明した文書）を提示。また、このテクノロジーが必要な認可と認証基準を満たしているという管轄政府機関からの証明書。

3. 資金計画

設備の長期運用、管理、研修、交換、修理にかかる費用を賄うための地元の資金源を確保します。また、プロジェクト参加者との良好な関係を築いておけば、奉仕活動の継続も確保できます。

補助金申請書に以下の情報を記入する必要があります。

- ロータリアン、地域社会、その他非政府組織、政府機関、民間団体が今後2～3年の資金を確保するために計画したプロジェクトの資金調達活動の説明。
- 該当分野の政府省庁または機関からプロジェクトへの支援がある場合は記載する（現在または今後発生する費用を補充するための寄付金、アドボカシー、方針の実施、研修、教育、人員配置、資材提供など）。
- プロジェクトを支援（または支援を予定）し、グローバル補助金の終了後も支援を継続する財団または民間パートナーを列挙する。
- プロジェクトに持続的収入をもたらす可能性のある収入（サービスへの対価）、保険、回収資金の計画について説明する。
- グローバル補助金の終了後に地域社会が資金を補充する方法について、2～4年の見通し（プロジェクトの成功を仮定した見通し）を示す。

4. 研修と教育

プロジェクトの受益者またはサービス提供者や技術者を対象とした研修、教育、認識向上の活動を実施し、必要に応じて、現地の政府、公共および民間機関、団体と協力して専門知識を提供しましょう。

補助金申請書に以下の情報を記入する必要があります。

- サービス提供者とプロジェクト技術担当者に対する研修計画：研究、スケジュール、達成指標の概要を含む。必要に応じて、研修指導者のための研修も含める。研修費用はプロジェクトの対象か、外部の資金提供を受けるかを明らかにする。
- プロジェクト受益者への研修計画：研修実施のため必要となる、または入手するすべての資料とリソース、ならびに研修目標を含む。研修指導者の氏名と受益者となるグループについても説明する。研修費用はプロジェクトの対象か、外部の資金提供を受けるかを明らかにする。
- プロジェクトの目標と方策について地元住民を教育するための公共保健キャンペーンの説明：予定表、対象者、研修資料の概要、その他の関係者との協力について説明。研修費用はプロジェクトの対象か、外部の資金提供を受けるかを明らかにする。
- プロジェクト終了後も教育活動を継続するための地域社会の計画。

5. モニタリングと評価

協力団体または政府の保健担当機関がモニタリングと評価を行い、データを収集し、その報告書や評価結果をロータリアンと共有することも少なくありません。プロジェクトの報告書には、明確で測定可能な目標とデータ収集方法を含めるべきです。提唱地区とクラブは情報源（協力団体や政府機関など）からこのデータを収集する作業を手伝い、この情報を財務報告その他の必須書類と一緒に保管します。モニタリングと評価の情報は、最終報告書とともに財団に提出してください。

B. プロジェクトの種類

グローバル補助金は、一般に以下の種類の「疾病予防と治療」プロジェクトに授与されます。下記に説明するそれぞれの種類について、受領資格の要件および申請書への添付が必要な資料を確認してください。

1. 医療機器プロジェクト

- 寄贈した機器の所有権を確認する医療施設または政府機関による同意書、ならびに研修、管理、修理の計画書を提出しなければなりません。この計画にはスペア部品の入手方法も記載すべきです。
- 機器を受領する施設または機関は、その機器の必要性を明記した要請書を提出しなければなりません。

2. 医療装置

医療装置（特に外科用）は通常、プロジェクトの一環として受領資格があります。該当する装置の例は以下の通りです。

- 死亡率と罹患率の削減のため手術で使用する水頭症用弁。補助金は弁の費用と公共保健制度の資金、ならびに手術費に使用される。
- 補聴器。補聴器の費用を補助金で賄い、専門職員がいる非政府組織がサービスを提供する。
- 白内障手術用の眼内レンズ。ボランティアの医師、別の団体、または政府機関がサービスを提供する。
- 僻地での一次歯科治療の備品供給と研修。

3. 車椅子プロジェクト

- 車椅子は、けがまたは疾病の重症化の予防を目的として主に使わなくてはなりません。
- 高リスク集団、受益者の状態に関する基本情報、個々の身体的・臨床的状态に対応するための車椅子のカスタマイズについて説明した受益者の調査が必要です。継続的な車椅子の評価と修正を必要とする高リスク集団には、成長加速期にある子ども、脳性まひなどの神経疾患の患者、事故の被害者、先天性または進行性の疾患の患者などが含まれます。
- プロジェクトには受益者の研修とともに、管理、修理、スペア部品、車椅子の操作と交換の計画も含む必要があります。
- 可動性、社会的、教育的、職業的成果は二次的な考慮事項であり、このような成果を主として使用する車椅子は疾病予防と治療分野のグローバル補助金の受領資格がありません。

- 車椅子の製造、組立、維持、修理に関するプロジェクトは、「経済と地域社会の発展」分野のプロジェクトとして認められる可能性があります。

4. 非伝染病

- このプロジェクトには、糖尿病、循環器の疾患、がん、アルツハイマー病、認知症などの慢性疾患が含まれます。薬物およびアルコール依存の予防と治療のプログラム、およびあらゆる形態の精神疾患に取り組むプロジェクトも、このカテゴリ内で評価されます。
- こうしたプロジェクトは長期にわたる行動変容（禁煙、血糖値の低下、高血圧管理など）に関わる場合が多いため、ロータリアンとその他のボランティアの参加がとても重要です。
- こうしたプロジェクトは予防と治療の両方を含むべきです。すべてのプロジェクトは測定可能な目標を設定しなければなりません。

5. 障害者関連プロジェクト

- 義肢は、受益者のニーズ調査に基づく予防と訓練の要素が含まれる場合、補助金の受領対象となります。これには、義肢の制作と装着のための調整、義肢受領者の物理療法を行う専門家の継続的教育または研修が含まれます。義肢の使用とメンテナンスに関する受益者とその家族に対する研修は持続可能性を確保する1つの方法となります。
- すべての療法はさらなるけがまたは疾患の予防を目指さなければなりません。
- すべての承認済み療法は医学界において臨床的に十分に認められ、測定可能な治療成果を挙げていなければなりません。
- プロジェクトは地域社会のニーズまたは対象者となる高リスク集団を特定する受益者評価情報に基づくべきです。
- すべての承認済み療法は臨床資格を持つ療法士が行う必要があり、この療法士にはプロジェクトの一環としてさらに研修を受けることを奨励すべきです。
- 物理療法の器具は、資格を持つ療法士の監督のもとで補助金の受領資格があります。

6. 視覚および眼病治療プロジェクト

- 屈折異常を調べ、眼鏡を提供して是正するための視力検査プロジェクトは、単体ではグローバル補助金プロジェクトとしての資格がありません。グローバル補助金は、疾患の検査や利用可能な治療法のための照会など眼科治療のさまざまな側面を支援します。治療法として挙げられることが多いのは、白内障と角膜移植の手術および処置です。
- 眼病治療プロジェクトには移動治療車や保健キャンプ、病院での治療などが含まれることがあります。眼の疾病予防、特定、治療プロジェクトの場合、測定可能な結果がなければなりません。

7. 自閉症スペクトラム障害プロジェクト（自閉症、アスペルガー症候群など）

- 受領資格があるとみなされるには、医学界において臨床的に十分に認められた治療と、その治療の影響の測定可能な指標を含む必要があります。これらのプロジェクトは個々の受益者審査と個別療法を含まなければなりません。
- グローバル補助金の受領資格があるとみなされる多感覚室は、医療システムに統合されてい

ければならず、感覚療法は基準測定および影響測定のできる資格のある療法士によって行われなければなりません。

8. 精神衛生および薬物乱用プロジェクト

- 以下の種類のプロジェクトは受領資格があります。
 - アルコールおよび薬物依存：高リスク受益者の評価に基づき、影響測定を含む予防、治療、リハビリ治療プロジェクト
 - 自殺防止：呼びかけ、紹介、治療
 - 医療制度内で対処可能な臨床的うつ病、双極性障害、その他精神疾患：活動には、予防、診断、治療が含まれる。
 - PTSD（外傷性ストレス障害）：治療およびリハビリ。馬をはじめとするアニマルセラピーなど、これまでにない治療も、臨床ガイドラインに従い、資格を持つ専門家によって実施され、測定可能な影響がある活動であれば受領資格がある。

9. 緩和ケアおよびホスピスプロジェクト

- ホスピス治療は医療機器を考慮すべき独特の状況を提示します。終末期ケアは、苦痛を緩和するための最高品質の医療を提供する設備が必要です。このようなプロジェクトの設備は治療で使用されるため、医療機器基準に適合している場合があります。たとえばベッドや可動性とコミュニケーションのための装置などです。
- 特定の受益者を対象とした評価を実施する必要があります。一般的な健康促進プロジェクトは対象外です。
- プロジェクトでは、提案したサポートが文化的に適切であること、活動内容が対象地域における死、終末期、病態管理に関する概念と慣習にどのように配慮しているかを記述しなければなりません。
- 地域社会を基盤とするホスピスケアは、数十年に及ぶ一次医療モデルの成功に基づき急成長しているモデルです。車両または移動手段のサポートは、在宅ケアを提供するためのホスピス職員の送迎に使用する場合、この種類のプロジェクトで受領資格がある可能性があります。
- プロジェクトは持続可能で地域社会と在宅をベースとするケア制度を強化するものでなければなりません。公式制度外の個人に対するケアを提供するプロジェクトは対象外です。
- プロジェクトには、資格認定医療機関により望ましいまたは必須であるとみなされる場合、医療専門家の継続的研修の支援も含むべきです。
- 終末期ケアは家族の教育と研修も含む場合があります。
- 外来ペインクリニックもプロジェクトタイプとなる可能性があります。

10. 医療フェアおよび一般健康診断

- 一般の医療フェアプロジェクトの場合、予防、診断、治療に関する対象を特定した測定可能なサービスを提供しなければなりません。たとえば、糖尿病予防、HIVとSTDの検査、子宮頸がん検査などです。医療フェアはポリオ撲滅活動においても効果的です。
- 医療フェアは患者を他の医療機関に照会して継続的治療を受ける機会を確保する場合に限り、

受領資格があります。1回限りのサービスの提供を目標とすることはできません。

- 確固としたモニタリングと評価のシステムが採用されている必要があります。

11. 医療用品、施設の設備、使い捨て用品、有効期間が短い品目

- 一般に、使い捨て医療用品が承認されるのは新しい医療機器の運用または手術をサポートする場合に限られます。
- 単に設備や非医療用品を医療施設に提供するだけのプロジェクトは受領資格がありません。機器は、より大型の持続可能なプロジェクトの一環である必要があります。
- グローバル補助金が目指すのは長く持続する大きな影響を及ぼすことであり、有効期間が短い医療用品はこの精神にそぐわないものとみなされます。例外は、こうしたタイプの医療用品が大型プロジェクトの一環として承認される可能性のある予算の大きい案件の場合です。

12. 移動診療車と治療施設

- 移動診療車（医療器具を備えた車両）は、医療利用の障壁に対応するものです。
- 移動式医療の目的は、僻地にも医療を拡大することであり、緊急医療や搬送システムの提供が目的ではありません。救急車は通常は移動診療施設としての資格がありません。
- 受領資格があるとみなされる移動診療施設には、以下の設備が含まれます。
 - 固定の医療センター以外の地域社会および奉仕活動地において特定の医療を提供するために医療機器を装備した車両
 - 地域社会および活動実施地において特定の医療を提供するために、医療従事者および現場で必要な医療機器と用品を輸送する車両。医療機器および用品は、品目を明記し、予算を付け、携帯可能なものにすべきです。
 - 出張診断（マンモグラフィ、糖尿病など）専用の移動医療車両。予防および治療サービスの対象集団が利用できる、効率のよい照会システムとして機能する場合があります。
 - 検査、照会、治療を提供する場合の血液バンク車両
 - 口腔医療の出張治療サービス用車両

13. 医療従事者の研修

14. 救命救急および先天性矯正手術

15. 伝染病の予防と治療

HIV/AIDS、結核、マラリア、顧みられない熱帯病（NTD）などを含みます。

16. 受領資格に特別な考慮を要する種類のプロジェクト

- 下記のプロジェクトは、さまざまな要因に応じて、グローバル補助金の受領資格がある場合とない場合があります。ロータリー財団は、グローバル補助金の基準を公正かつ一様に適用して各プロジェクトをケースバイケースで評価します。申請手続きの早い段階で地域別の補助金担当職員に連絡してアドバイスを仰ぎましょう。

病院のベッドは臨床的に治療に適した設計でなければならず、集中治療室用ベッド、小児の神経外科術後ベッド、終末期医療のホスピスおよび緩和ケアの専用ベッド、その他医療専用ベッドなどが含まれます。

- 熱または水用の太陽光パネル（「概念を実証する」文書を含む厳しい技術基準を適用）。これらは単独プロジェクトとしては受領資格がありませんが、ロータリー財団の医療インフラ強化プログラムにおいて認定されたプロジェクトの主要部分となる可能性もあります。
- ソーラー技術（冷蔵庫）：ソーラー冷蔵庫はワクチンを保存するためのものなので医療機器として認定されます。その他の太陽光発電医療機器も、技術基準を満たしていれば受領資格がある可能性があります（「概念を実証する」文書が必要）。
- 広い層を対象とする視力と聴力の検査プロジェクトは、治療の照会と医療機関の受診を含まなければなりません。失聴予防と治療プロジェクト（特に新生児から3歳児まで）は受領資格がある可能性があります。
- ポリオワクチンの購入と配布はプロジェクトの主眼にすることはできませんが、より大きな予防接種プロジェクトの一部とすることは可能です。
- 子ども用の遊び場や非臨床機器は通常は対象外です。
- アニマルセラピーの動物は受領資格がある可能性があります。承認されたアニマルセラピープロジェクトには、PTSD患者のための乗馬セラピーがありますが、基準測定および影響測定を実施可能であるという条件付きです。
- 高リスク集団を対象としないアルコールおよび薬物乱用の啓蒙および防止プロジェクトは、通常は受領資格がありません。薬物乱用の場合、プロジェクトは高リスク集団を対象とし、基準を確立し、測定可能な影響指標を設定し、依存症患者への臨床的介入を採用していなければなりません。
- 栄養不足に特定したものではない学校の給食プログラムをはじめとする栄養補助は受領資格がありません。一般的な健康教育と栄養教育プロジェクトは疾病予防と治療からあまりにも離れてしまうため、測定可能な影響指標を提供できません。

C. リソース

補助金申請者にとって最善のリソースの一つは[ロータリーの補助金担当職員](#)です。専門分野の知識と学歴だけでなく、効果的なプロジェクトに補助金を授与してきたロータリー財団の長年の経験を生かして、グローバル補助金プロジェクトが受領対象となるように支援します。

「疾病予防と治療」分野のグローバル補助金申請を計画する上で役立つ情報は、以下のリソースからもご覧いただけます。

[グローバル補助金ガイド](#)

[ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件](#)

[重点分野の基本方針](#)

[持続可能なプロジェクトの立案6つのステップ](#)

[グローバル補助金：モニタリングと評価の計画](#)

プロジェクトの流れ（ライフサイクル）に役立つリソース